

学習支援連携委員会の動き

1 2011年度取り組みと課題

10月31日に開催された学習支援連携委員会(第8回)では、10月までの図書館学習支援活動について報告があった。概要は次のとおり。

東日本大震災とその影響下にあった年度当初の図書館サービスでは、臨時閉館や短縮開館といった制約の中、可能な限りの臨時サービスや反則点免除、被災大学関係者の利用受入等を行って関係利用者の便を図ったことを報告した。また2011年度からの主な図書館サービスの改善について次のとおり報告した。

- ・各学生読書室の閉室時間繰り下げ
(月～金～22:00、土～18:00)
- ・理工学図書館・理工学生読書室の開室時間の繰り上げ
(月～金9:00～、土9:00～)
- ・学外図書館等からの資料取り寄せにかかる費用負担制度の改善
- ・各種データベースの拡充

次に、2011年度における図書館学習支援活動の概況と2010年度との比較から見た2011年度の特徴について報告した。2011年度は授業期間の短縮にも関わらず政経、文構・文の支援をはじめ授業支援申し込みが前年を上回った。前期終了間際まで支援が続き、後期に入っても前年を上回る支援が行われている状況である。特に、教育・文・法・国際の各学術院への支援が増加している。また政経や社会学のG30プログラム新入生など増加する留学生への対応にも力をいれたことを報告した。

今後の活動に向けては、前年に策定した学習支援活動5つの柱に沿った形で、あらためて各学術院への直接的な連携の呼びかけを行ない授業支援においてもさらなる内容の充実をはかること、学習支援体制の拡充・強化に向けてはライブラリーアシスタント(仮称)制度の検討や、こうはいナビの取り組み支援を、そしてアカデミックリエゾン研修体制の構築と研修実施について具体的な提案を行った。これらの報告提案に対し次のようなご指摘をいただいた。

- ・リエゾンと箇所(の)の図書委員会等との連携を強めて広く周知する工夫が必要ではないか。
- ・リエゾン内で課題や具体的な目標など年間計画をたてて提案いただくようなことができれば、執行部も検討しやすいのではないかと。現

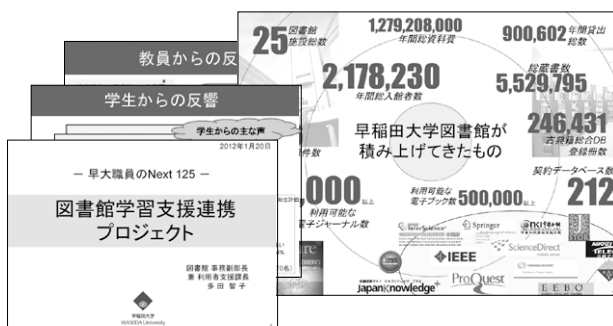
在のように認知度が低いのはもったいない。

- ・英語教育を担当する教員からゼミ単位での支援受け付けの希望がある。また学読における英語サービスも検討の必要があると考えており、今後ご協力いただきたい。
- ・留学生対応の取り組みについて、開催数のわりに参加者数が少なく、周知方法に工夫の余地があるのではないかと。

これらのご指摘ご意見については現状についての回答を申し上げるとともに今後の活動への参考とすることとした。

2 2012年度に向けて

年度内2回目となる2月1日に第9回の学習支援連携委員会が開催された。前回委員会後の支援活動として、アカデミックリエゾンが行った研修「調査研究」の開催結果と、1月に行った当プロジェクトの理事会報告について報告があった。



理事会報告より

また今後の活動に向けては、継続的な取り組みとして、2012年度も政経総合基礎演習a授業支援、文構・文必修基礎演習授業支援の継続と各種支援申し込みへの対応を行うことを確認した。新規取り組み予定として、図書館情報リテラシー授業支援内容の改善と拡大をはかるために、教員に授業支援活動案内を送付して広報の強化を図ること、授業時間外での課題として利用できる演習課題(コンテンツ)の作成とその活用への呼びかけを行なうことを提案した。また図書館企画としては授業外での中央図書館館内ツアーの実施や図書館内での各種講習会開催(どちらも通年を対象とする)を予定し検討していることを報告した。

委員からは学習支援活動の箇所や各会議体

での積極的な広報と、牽引役となる仕組みの工夫をあらためて強く求められた。図書館としても各学術院執行部や図書委員会を通じた意見交換を活発化させ、学習支援連携委員会

作業部会についても必要があれば今後キャンパス単位での設置も検討したい旨館長から発言があり、2012年度に向けての活動の方向を確認した。

学習支援連携委員会設置要綱

1.目的

『「Waseda Next 125」理事会の基本的な考え方』が示す全学基盤教育の確立に向けて、図書館に期待される新たな役割の具現化や各学術院において展開される教育研究活動と図書館サービスのより密接な連携を実現するため、図書館に学習支援連携委員会を設置する。

2.任務

本委員会は、主に学部学生に対する学習支援の一層の充実・強化をめざし、全学共通の枠組みの構築や各学術院ごとの取り組み等について検討をおこなうことを任務とする。

3.構成

- (1) 各学術院の教務担当教務主任、副主任または各学術院長が推薦した者 各1人
- (2) 図書館長、図書館副館長および図書館事務部長
- (3) 教務部長または教務部副部長のうちから選任された者 1人
- (4) メディアネットワークセンター所長、副所長または教務主任のうちから選任された者1人
- (5) オープン教育センター所長または教務主任のうちから選任された者 1人
- (6) 図書館長が指名する教職員 若干人

なお、座長は図書館長とし、幹事は図書館事務部長とする。

4.委員の任期

役職上の委員を除く委員の任期は、図書館長の任期に準ずる。

5.作業部会の設置

本委員会は、学習支援に係る諸施策を企画・実施するため、必要に応じて、作業部会を本委員会のもとに設置できる。

6.事務

事務は図書館総務課長がおこなう。

以上

(2009年2月6日制定)

学習支援連携委員会委員名簿

	委員	箇所名
1号	船木 由喜彦	政治経済学術院
	グレン・ストックウエル	法学学術院
	岡部 耕典	文学学術院
	若林 幹夫	教育・総合科学学術院
	藤田 誠	商学学術院
	宗田 孝之	理工学術院
	上沼 正明	社会科学総合学術院
	扇原 淳	人間科学学術院
	岡 浩一郎	スポーツ科学学術院
2号	ヴィクトリア・ミュラーライゼン	国際学術院
	飯島 昇藏	図書館
	和田 敦彦	図書館
3号	中島 達夫	図書館
	中元 誠	図書館
4号	大野 高裕	教務部
5号	楠元 範明	メディアネットワークセンター
6号	瀧澤 武信	オープン教育センター
7号	多田 智子	図書館

学習支援連携委員会作業部会名簿

多田 智子(座長)	事務副部長 兼 利用者支援課長
鈴木 努	利用者支援課
荘司 雅之	事務副部長 兼 総務課長 兼 高田早苗記念研究図書館担当課長
湯川 亜矢	情報管理課長
齋藤 和子	戸山図書館担当課長
小林 邦久	理工学図書館担当課長
渡邊 幸弘	所沢図書館担当課長
笹渕 洋子	総務課